

令和8年度 桂川中学校ブロック小中一貫教育構想図

小中一貫 9年間の教育目標

「互いの生き方・考え方を尊重し合える関係を築き、自己の可能性を信じ、進もうとする児童生徒の育成」

めざす子ども像

- つながろうとする子
- そうぞうしようとする子
- こうどうしようとする子

育みたい資質・能力

- つながる力
他者との関係を築くことのできる力
- そうぞうする力
相手の気持ちや未来の自分の姿を想像する力
新しいことを生み出し、社会や人生を豊かにする創造力
- こうどうする力
自らの判断のもと、自ら動き出せる力

これら3つの力を支える土台は「健康に生きる力」である。

桂川中

《学校教育目標》 「主体的な発信力・行動力を身につけ、社会性のある生徒の育成」

＜目指す子ども像＞

「自分の軸を持ち、愛し愛される生徒」

- (1) 自分の思いや考えを分かりやすく、他者へ伝えることができる。
- (2) 自身の意志や考えに基づき、行動することができる。
- (3) 自分や他者を大切にできる。

＜目指す教職員像＞

「生徒から分かりやすく、信頼される教職員」

- (1) 「子どもの心」に寄り添い、支えることができる。
- (2) 生徒に考え、気づかせ、かまいすぎず伴走者ができる。
- (3) 「専門職」として授業を大切に、探究し学び続ける。

川岡小

【学校教育目標】

自分も人も しゃわせになる学校をめざして
～うれしい!わくわく!だいすき!いっぱい!の学校にしよう～

(学校経営方針)

キャリア教育の視点に立った教育活動の推進
「人や社会とのつながりの中で、健やかに、他者と協働することを通して、自己決定する力を高め、言葉や行動としてアウトプットする力を育む教育」

子どもから引き出す
3つの感情
「うれしい!」
「わくわく!」
「だいすき!」

育成を目指す
2つの資質能力
協働することを通して
「自己決定する力」
「アウトプットする力」

川岡東小

【学校教育目標】

仲間とともに
よりよい社会を創り出す子ども
～自ら学ぶ力を高め、豊かな人権感覚を育み、心身の健康を保ちながら～
具体的な姿

- ◎意欲的に学習に取り組み、仲間との課題追究を楽しむ姿
- ◎自らあいさつができ、いつでもはきものがそろえられる姿

めざす教職員像

子どもに背中を見せることができる教職員集団
学校教育目標の具現化に向けて、職責を自覚し、自己研鑽に努め、教職員との連携を深めながら、粘り強く実践できる教職員集団をめざす

めざす学校像

<『挑戦発展』の精神でちゃんとやりきる川岡東>
たくましく社会を生き抜くことができる子どもを育むことを第1に考え、地域の特性を踏まえ、地域の中で、地域とともに歩むことができる学校づくりをめざす
『地域が誇れる学校をめざして』

桂東小

【学校教育目標】

人も自分も大切に、
ともに前に進んでいける桂東の子

めざす学校像 子どもも大人も
みんなが通いたくなる学校

～わくわくが止まらない魅力あふれる桂東小学校～
桂東小学校を素敵な出会いの場・
成長できる場・チャレンジの場に

- 愛(合)言葉…「この子(達)のために」
- 日々のコミュニケーション(目配り・気配り・心配り)で、どの子も「大切にされている実感」をもてる桂東小学校をめざす。
- 社会性の土台を築く場
 - ・失敗する権利 責任をとる経験を積める場
 - ・前向きなこと みんなのためにすること
 - 『まず やってみる』…失敗をおそれない
 - 『やり直せる』という安心感 その経験を積む場
- 児童や教職員の「〇〇したい」を尊重する
 - 児童が自走できる学校へ

小中一貫教育の充実 (児童生徒の交流・ブロック合同教職員研修)

家庭、地域との連携・信頼関係の構築

学校評価の活用 (小中合同学校運営協議会での共有)

開かれた学校づくりの推進